積寒協ニュース

全国積雪寒冷地帯振興協議会長(泉田新潟県知事)等が自由民主党、民主党、公明党に対して雪寒地帯対策の要望活動を行いました。

5月29日に全国積雪寒冷地帯振興協議会長の泉田新潟県知事、副会長の石田飯山市長及び理事の島田栄村長が、自由民主党、民主党、公明党に対して雪寒地帯対策の要望活動を行いました。

各政党から対応していただいた方は、 次のとおりです。

自由民主党

雪寒地帯振興委員長 小坂 憲次 民主党

政策調査会長 直嶋 正行 「次の内閣」の国土交通大臣

長浜 博行

公明党

 副代表
 井上 義久

 副幹事長
 魚住 裕一郎



(小坂委員長へ要望する泉田会長)

会長からは、「現在、世界的に食糧やエネルギー問題が取りざたされている中で、 積雪寒冷地帯は、水資源に恵まれ、また 食糧基地として日本を根底から支える重要な地域であり、この地域で安心して生活が営めるような仕組みを作ることが、 日本の将来に大きなプラスとなる。」との 説明がありました。また、石田副会長や 島田理事からは、雪寒地帯の厳しい現状 について説明がありました。

その上で、要望書に基づき、**除雪経費** の確保や、過疎化、高齢化が進行する地域への支援等について要望を行いました。



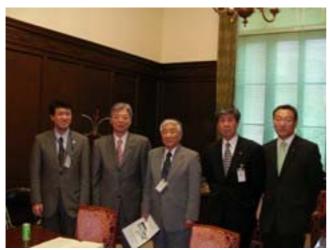
(左から泉田会長、小坂委員長、石田副会長、島田理事)

これに対して、自民党の小坂委員長からは、**会長の説明や要望内容について、「特別委員会で討議したい。」**とのコメントをいただきました。

なお、事務局において国土交通省都市・

地域整備局地方整備課へ要望書を持参し て説明したのをはじめ、関係省庁及び特別 豪雪地帯市町村を所管する道府県から選 出されている自由民主党の国会議員に対

しては、要望書を配布しました。



長浜「次の内閣」国土交通大臣)

(左から泉田会長、直嶋政策調査会長、石田副会長、島田理事、

また、民主党、公明党からも、「過疎や 農業問題も含めて、検討していきたい。」 とのコメントをいただきました。



(左から石田副会長、泉田会長、井上副代表、魚住副幹事長、島田理 車)